

故新谷雄蔵氏の収集品について

齋藤 岳¹⁾

Archeological materials collected by Mr.Araya Yuuzou

Takashi SAITO

Key words : 故新谷雄蔵氏、収集品、砂沢式、大曲遺跡、大木7b式土器

1 はじめに

当館は、故新谷雄蔵氏の収集品を夫人の新谷照氏から寄贈申込みを受けることができ、平成20年9月に受入れ手続きを完了した。故新谷雄蔵氏は大正12年に生まれ、五所川原第一中学校長等を勤められながら、日本考古学協会員として埋蔵文化財に関する専門職員のいなかった五所川原市や西津軽郡で発掘調査を担当された(注1)。そして、五所川原市史の編さんや執筆を担当され、平成14年に逝去された。

寄贈資料は故新谷雄蔵氏の教え子や父兄、友人・知人などからの寄贈品や、氏自身の採集資料からなっていると考えられる。その中には弥生時代前期の砂沢式期の土器など、研究者の資料調査や博物館での特別展示等での資料貸出の対象となりうる重要なものが含まれている。そのため本稿では登録資料とした360点の中から、主要なもの123点を写真紹介することとした(注2)。

これまで氏の収集品は、氏自身の著作をはじめ、他の研究者の論文等にも図や写真が紹介されてきた。そこで、本稿では、まず資料紹介されてきた資料を紹介する。そして文献に記載があるものの所在が確認できなかったものも、併せて述べるものとする。次に、資料紹介されていない資料のなかから重要な物を時代順に紹介することとした。なお、写真図版では、計測値はcmを省略し、欠損品等は括弧内に数値を記入した。また括弧内の番号は本寄贈資料の登録番号(2023)の枝番であり、例えば写真1の31は2023-31として台帳登録されているものである。

2 資料紹介されている資料

五所川原市原子(注3)の出土品については、氏が古くから採集を行ってきたようであり、注記があるものの中には「原子1955」と墨書された土器片が2点ある。五所川原市教育委員会の原子遺跡の報告書(新谷1974)ではPL33~35でこれまでの採集品が参考資料として紹介されている。PL33の左上の土器、PL35の左下及び右の土器の3点は確認できなかったものの写真1の顔面取手の土器片をはじめ残りの6点は確認できたので登録資料とした。

また、写真2は、北奥古代文化第7号で「五所川原市近傍出土」として紹介されている擦文土器(高杉・木村1975)である。同号は、砂沢式に関する氏の代表論文(新谷1975)が掲載されており、砂沢式期を中心とした縄文時代晩期最終末から弥生時代前期の資料群が紹介されている。論文では25~26頁に41点の土器が図示されているが、4・6・7・9・10・19・21・25・30・31・32・35は確認できなかった(注4)。また、27~29頁に写真掲載されている土器破片資料のうち、7-1・8-2・18・20・24は確認できなかった。また20は拓本については確認できた。なお27は台付浅鉢を上面から撮影したものであるが、土器の特定が困難である。

図示された土器を写真3~31に紹介し、写真紹介された土器片からは写真32を代表として紹介する。写真29の土器は内面に川村砂沢溜池という墨書きの注記がある。川村は砂沢遺跡のある砂沢溜池の所在地周辺の呼び名であり、弘前市砂沢遺跡のものと同判断される。その他の土器については鱒ヶ沢町大曲遺跡のものが中心と考えられるが、砂沢遺跡等他の遺跡の可能性も否定できず、注記等で確認できないものは両遺跡の所在する岩木山北東麓とした(注5)。写真5・6・11・14・17・24については、文様帯の幅が上部に狭く配置されており沈線の幅がせまい。縄文時代晩期最終末の大洞A'式と考えられる。写真26も同時期の可能性がある。なお、写真6は口径39.3cmの大型品である。また、写真28は北海道の影響を受けたと考えられる文様が施されている。

写真33の壺形土器は、当館の大曲遺跡の発掘調査報告の中で「五所川原市の新谷雄蔵氏宅で大曲遺跡(通称大曲V号遺跡)出土の遠賀川系の壺形土器を拝見し」(木村1989)と記述され、発掘調査の契機となった土器と考えられる。下半部を欠失するが、土器の器面調整が丁寧で焼成も良い。40.3cmの高さで復元されている。

写真34の土偶は、鱒ヶ沢町大曲遺跡の出土品であり、写真での紹介(鈴木1979)の後、氏自身により資料紹介がなされている(新谷1980)。中実の土偶であり、左腕等の一部を欠失している。大曲遺跡は大洞A'式から砂沢式の資

1) 青森県立郷土館 主任学芸主査(〒030-0802 青森市本町二丁目8-14)

料が出土しているが主体となるのは砂沢式であり、氏が紹介したように砂沢式期の可能性が高い。中実の土偶であり、左腕等の一部を欠失しているが全体形のわかる土偶であり、その帰属時期から考えても重要な資料である。

3 未紹介の資料

未紹介の資料では円筒土器から近代まで様々な資料が含まれているが重要なものを紹介する。特に重要なのは写真46の大木7b式土器と砂沢式期を中心とした縄文時代晩期最終末から弥生時代前期の資料群である。

縄文時代前期～中期の円筒土器では写真35をはじめとして弘前市高杉の資料がまとまっている。

写真46は弘前市黄金山遺跡の土器であるが、大木7b式土器であり青森県内の出土品として貴重な例である。大木系土器では、写真48の五所川原市原子の採集品も大木8b～9式期である。同遺跡の写真47の土器把手についても人面を意識した可能性がある。縄文時代後期の土器は、写真49のように五所川原市原子の出土資料が多い。縄文時代晩期の土器は出土地点が各地にわたるようである。写真66～68は縄文時代晩期から弥生時代前期までくらいの時期が考えられる。写真67は突起をもつ鉢形土器であるが、写真中央の突起の上部を欠失している。その両側にも小さな突起が付けられている。写真68は小型土器である。

そして、写真69～89は縄文時代晩期最終末から弥生時代前期の資料である。写真69～71は大洞A'式と考えられる。写真73は、平行・斜行する沈線により文様が構成されている。文様は変形工字文の範疇でとらえられ、弥生時代前期のものと考えられる。写真74・75も同様の時期と考えられる。写真84は蓋形土器であり、クマの可能性のある動物意匠が施されている。一部の刺突内には赤彩が残る。写真85も蓋形土器の破片である。写真86～87は遠賀川系土器の口縁部破片である。写真88は肩が上に張り、砂沢式に後続する五所式くらいに位置する可能性がある。写真89は高さ3.3cmの小型の丸底の土器であるが、この土器も同時期の可能性がある。

なお、縄文時代晩期最終末から弥生時代前期の土器破片については、同論文の27～29頁に写真掲載されている資料を含め、拓本が多数残されている。例えば同論文28頁の8-1aにセコ60という鉛筆書がみえるが、セコは精製土器の口縁部を意味する略号と考えられる。これらに対応して拓本が残されている。写真86の遠賀川系土器の口縁部破片の内側にはソド78と書かれており、ソドは粗製土器の略号と考えられる。これも拓本が残っている。おそらくは、同論文の作成時に、あるいはその後には拓本を作成し、資料紹介する準備をしていたものと考えられる。

写真90～91は「天皇山海岸」と記した袋に入っていたものであり、いずれも続縄文土器の後北C₂-D式の土器破片と考えられる。つがる市木造の天皇山に近い海岸に位置した後北C₂-D式期の遺跡として知られているのは、つがる市神田遺跡が唯一であり、同遺跡からの採集品と考えられる。

写真95は高さ80cmの須恵器大甕で、破片資料を郷土館内で接合したものである。

写真96は土器製作時の粘土の継ぎ目を残し、孔が開けられている土器もしくは土製品の破片である。写真97はサメの歯を摸した可能性がある土製品である。写真98は五所川原市原子の注記のあるキノコ形土製品である。キノコ形土製品に文様が観察される例は少なく、工具による刺突が上部と茎部に行われ、上部中央の刺突から沈線がらせん状に引かれている珍しい例である。写真104は、環状の土製品の破片と考えられ、山形の沈線と刺突から弥生時代の可能性がある。写真108は裏面の肩部に平行沈線がみられ、縄文時代晩期から弥生時代のものと考えられる。写真109は土偶の左足であり、縄文時代晩期末から弥生時代前期のものと考えられる。写真112～113は砂沢式期と考えられる土版である。

写真114は頁岩製の打製石斧であり、石材と形態から縄文時代晩期のものと考えられる。写真118～119は円盤状石製品で、写真118は加工の度合いが低く、未製品の可能性もある。写真120は軽石製品で、砥石として使用された可能性のある平滑な面から孔が開けられ、裏面側まで貫通している。写真裏面では未完通の孔が貫通した孔の付近にさらに1孔ある。写真121は長さ42.9cmの石皿で、使用により減耗し、中央部に穴が開いている。写真123は石槍であり、封筒に「アメリカ テキサス州の石槍 1万年位前という」、「記念にもらう」というメモが残っている。寄贈者は不明であるが、故新谷雄蔵氏の交友の広さが感じられる資料である。

4 おわりに

本稿は、新谷照氏から寄贈を受けた故新谷雄蔵氏の主要な収集品を紹介したものである。今回は写真紹介に限ったが、寄贈品は砂沢式期を中心とした縄文時代最終末から弥生時代前期の資料群をはじめとして、大木7b式土器など重要な資料を数多く含んでいる。今後の研究資料としての活用を図るために、図化し紹介していくことが必要である。また、特に氏が情熱を傾けていた砂沢式等の資料については、氏の残された多数の拓本を活かし、再分類し、紹介していくことが必要である。また、土器破片には接合により、復元が可能になりそうなものも含まれている。今後引き続き整理作業を続け、今後のよりよい活用と管理保管をはかっていく必要がある。

謝辞

本稿を作成するにあたって多くの方々からご教示とご協力を賜りました。特に五所川原市教育委員会の藤原弘明氏と榊原滋高氏、つがる市教育委員会の佐野忠史氏、鯉ヶ沢町教育委員会の中田書矢氏、深浦町教育委員会の伊東信氏、弘前大学前教授の藤沼邦彦氏、東海大学の松本建速氏、青森県考古学会会長の福田友之氏、明治大学大学院品川欣也氏、そして青森県教育庁文化財保護課の岡田康博氏・小笠原雅行氏・永嶋豊氏のお世話になりました。

そして、何よりも貴重な資料を寄贈された新谷照氏、種々のご協力を賜りました御息女の菊池由紀子氏に深く感謝いたします。

(注1) 平野の地形発達史として著名な海津正倫氏の論文(1976)の謝辞にも「五所川原市立中央小学校校長新谷雄蔵先生、(中略)には有益な討論・助言をしていただき」(海津1976)と書かれており、氏は考古学のみならず、多くの研究者と交流があった。

(注2) 寄贈品は石器や鉄滓、多数の土器片等(平箱で25箱)、図書を含むものであるが、土器については登録資料としたのは、復元品と論文等掲載土器片、遠賀川系土器破片等重要なものに限った。他は関連する参考資料として活用を図ることとした。また、写真紹介の資料選択にあたっては、資料の残存度や展示可能性、資料数の多寡から判断した。その結果、縄文土器の復元個体の一部、土師器の坏・皿、土・石製品の一部、石鏃等多くの石器を割愛した。

(注3) 氏は原子遺跡の報告書(新谷1974)で原子遺跡内の地点をわけて記述しているが、現在の遺跡台帳では各地点が原子溜池(1)~(3)遺跡として別遺跡となっている。そのため「原子遺跡」関係資料は五所川原市原子出土とした。

(注4) 砂沢式土器等の一部資料については、発掘調査で一緒に汗を流した方に寄贈したという情報があり、そのために当館への寄贈品に含まれていないものと考えられる。

(注5) 資料については、平成11年に寄贈の話が出た折に、故新谷氏から当時の当館職員が聞き取りし、資料の遺跡名等についてのメモ等を残している。しかし結果的に出土地を明記したものが少なくなった。第一に筆者が推測するに教え子等からの寄贈品は地点が不明なものがあったためと考えられる。第二に砂沢式期を中心とした縄文時代最終末から弥生時代前期の資料群については、想定される保管の経緯から筆者が遺跡の特定を避けたためである。1975年の論文では弘前市湯の沢遺跡等津軽地方の遺跡が取りあげられているが、検討材料としての使用であり、報告書等の掲載図面は直接使用されていない。そのため同論文の図・写真は全て氏の所蔵品と判断される。大曲遺跡に関しては「報告書未完(この報告が最初である)、資料収集、新谷雄蔵1948」として記載されており、論文掲載の資料は大曲遺跡のものが中心と考えられるが、砂沢遺跡のものも含まれている。このことから同論文の掲載品、そして掲載されなかった資料についても砂沢遺跡の物が含まれていると判断される。そして、氏は砂沢式土器の研究を精力的に進めており、土器型式の研究のために両遺跡の資料を一括して比較検討し、長期間にわたって一緒に保管されていたようである。聞き取りでは、確実といえるものだけでなく、そうでないものもあったようである。これらの資料は砂沢式を理解するうえで極めて重要性の高い資料であることから、今回の報告では筆者は文献等から裏付けられるものや、注記等で遺跡名の情報の残るものを除き、岩木山北東麓とすることとした。また、岩木山北東麓で砂沢遺跡と大曲遺跡の間に位置する弘前市清水森西遺跡では、砂沢式に後続する五所式土器の表面採取資料が報告されている(工藤1978)。また、『水元村史』(折登1956)で、廻堰大溜池の改修工事の土取場である清水森から大量に土器破片が出土しており、「亀ヶ岡式と思われる突起のある模様のある破片も出土している」ことが報告されている。その土器は同書巻頭の写真図版の「清水森附近から出土した「土器 石器」の写真の左上の土器片と判断される。写真は不鮮明であるが、平行沈線と粘土粒の貼付けが確認でき、砂沢式土器の可能性もある。そのため清水森西遺跡及びその周辺から採集した土器破片が少数含まれている可能性もある。

引用・参考文献

新谷雄蔵1974『原子遺跡』五所川原市教育委員会

新谷雄蔵1980「青森県大曲V号遺跡出土の土偶と若干の考察」考古風土記 第5号 181~188頁

海津正倫1976「津軽平野の沖積世における地形発達史」地理学評論 49-1 733頁

小山内寿一・岡田康博1983「木造町神田遺跡の後北式土器について」弘前大学考古学研究 第2号 29~38頁

折登岩次郎1956「清水森の出土品」『水元村史』3頁 水元支所

木村鉄次郎1989「西津軽郡鯉ヶ沢町大曲遺跡発掘調査報告」青森県立郷土館調査研究年報 第13号 57~82頁

木村鉄次郎2005「大曲遺跡(15027)」『青森県史 資料編 考古3 弥生~古代』60~63頁 青森県

工藤国雄1978「弘前市清水森西遺跡出土の続縄文土器」考古風土記 第3号 60~70頁

鈴木克彦1978『青森県の土偶』図版65 故音喜多富寿先生追悼記念出版

高杉博章・木村鉄次郎1975「津軽平野における擦文式土器の新例と問題点」北奥古代文化 第7号 58頁



写真1 31 五所川原市原子 高(12.0)



写真2 152 五所川原市近傍 高(17.9)



写真3 60 岩木山北東麓 論文25頁1 高10.3



写真4 130 鱒ヶ沢町大曲遺跡 論文25頁2 高10.9



写真5 143 岩木山北東麓 論文25頁3 高9.8



写真6 50 岩木山北東麓 論文25頁5 口径39.3高(15.3)



写真7 140 岩木山北東麓 論文25頁8 高12.9



写真8 弘前市砂沢遺跡 論文25頁11 高13.3

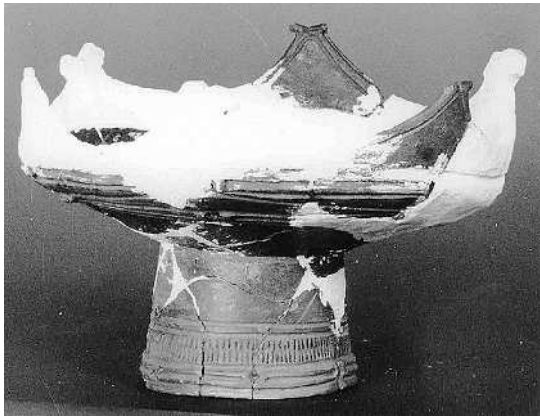


写真9 55 岩木山北東麓 論文25頁12 高13.3



写真10 56 岩木山北東麓 論文25頁13 高6.9

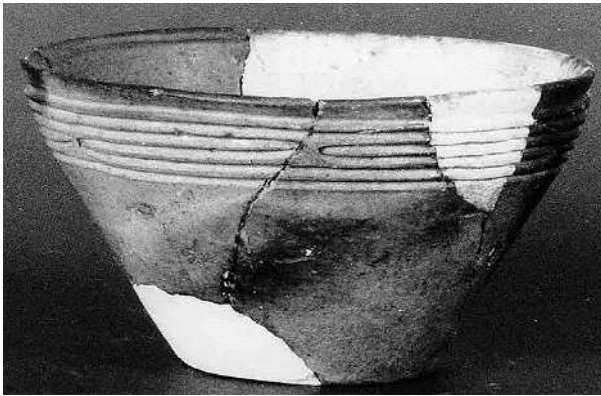


写真11 57 岩木山北東麓 論文25頁14 高7.7



写真12 133 岩木山北東麓 論文25頁15 高6.2



写真13 58 岩木山北東麓 論文25頁16 高6.2



写真14 142 岩木山北東麓 論文25頁17 高8.3



写真15 144 岩木山北東麓 論文25頁18 高7.4



写真16 138 岩木山北東麓 論文25頁20 高6.6



写真17 35 岩木山北東麓 論文26頁22 高5.6



写真18 25 岩木山北東麓 論文25頁23 高9.5



写真19 53 岩木山北東麓 論文25頁24 高12.8



写真20 131 鱒ヶ沢町大曲遺跡 論文26頁26 高8.2

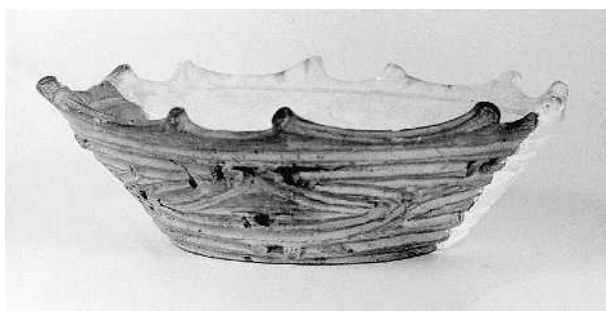


写真21 59 岩木山北東麓 論文27頁27 高4.8



写真22 54 岩木山北東麓 論文26頁28 高(19.8)



写真23 39 岩木山北東麓 論文26頁29 高15.3



写真24 47 岩木山北東麓 論文26頁33 高13.1

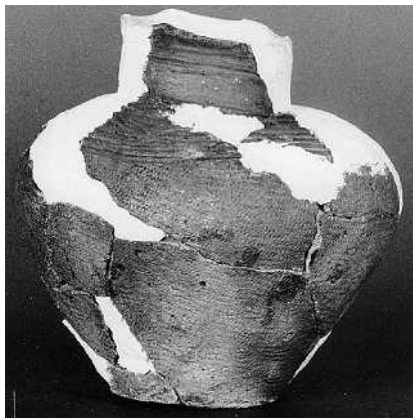


写真25 48 岩木山北東麓 論文26頁34 高14.9



写真26 136 岩木山北東麓 論文26頁36 高13.7



写真27 27 岩木山北東麓 論文26頁37 高 (13.6)



写真28 41 岩木山北東麓 論文26頁38 高13.6



写真29 9 弘前市砂沢遺跡 論文26頁39 高24.5



写真30 24 岩木山北東麓 論文26頁40 高33.2



写真31 108 岩木山北東麓 論文26頁41 高26.4

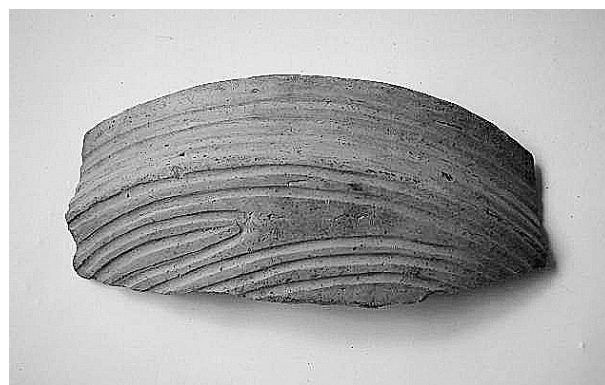


写真32 333 岩木山北東麓 論文27頁6 高 (6.0)



写真33 151 鱒ヶ沢町大曲遺跡 高(40.3)



写真34 153 鱒ヶ沢町大曲遺跡 高15.3



写真35 107 弘前市高杉 高11.6



写真36 23 五所川原市原子溜池
高16.0



写真37 105 弘前市高杉 高58.8



写真38 22 出土地不明 高28.5



写真39 109 弘前市高杉 高34.8



写真40 103 弘前市高杉 高60.1



写真41 1 弘前市高杉 高55.4



写真42 102 弘前市高杉 高55.7



写真43 104 弘前市高杉 高71.2



写真44 21 弘前市高杉 高23.6



写真46 106 弘前市黄金山遺跡 高(30.7)



写真45 125 出土地不明 高22.6

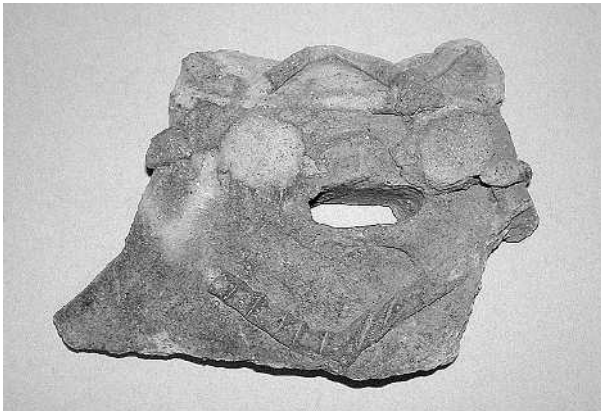


写真47 134 五所川原市原子 高(6.6)

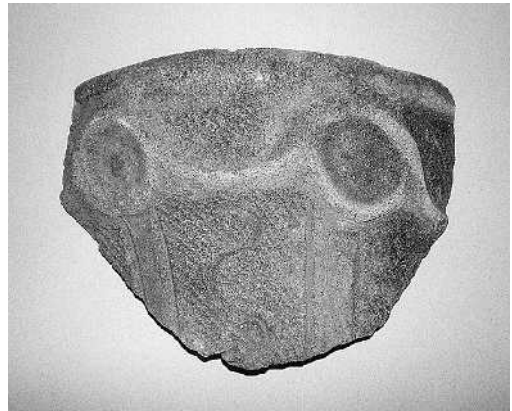


写真48 316 五所川原市原子 高(13.1)



写真49 121 五所川原市原子
高7.8



写真50 11 出土地不明 高12.3



写真51 117 出土地不明 高7.8



写真52 16 五所川原市原子
高12.1



写真53 17 弘前市黄金山遺跡
高19.3



写真54 12 五所川原市田川河川敷
高8.1



写真55 14 五所川原市原子 高8.5



写真56 4 鱒ヶ沢町山田野 高13.5



写真57 6 出土地不明 高12.9



写真58 111 出土地不明 高(12.5)



写真59 112 出土地不明 高18.0



写真60 148 出土地不明 高15.8



写真61 149 出土地不明 高12.3



写真62 114 出土地不明 高9.2



写真63 33 弘前市黄金山遺跡
高18.7

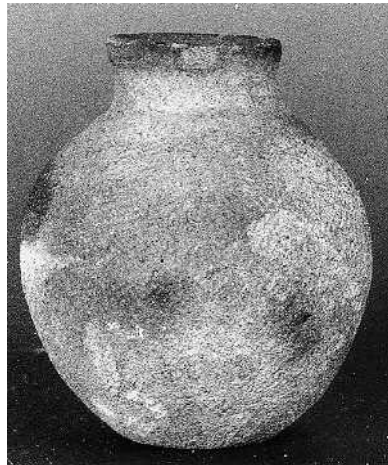


写真64 26 出土地不明 高10.9

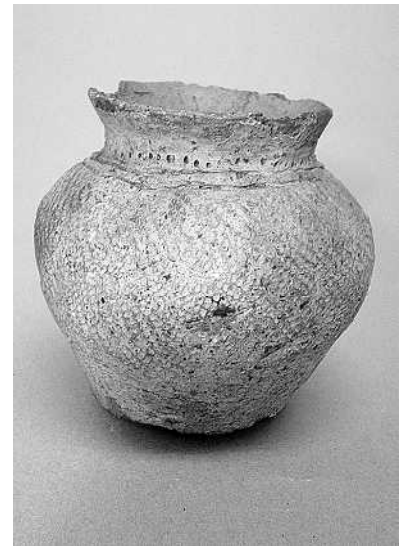


写真65 118 五所川原市原子？
高8.5

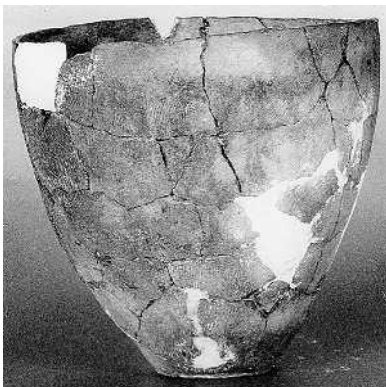


写真66 8 出土地不明 高21.4



写真67 119 出土地不明 高12.8



写真68 44 鱒ヶ沢町大曲遺跡
高(4.3)



写真69 147 岩木山北東麓
高 (6.7)



写真70 42 岩木山北東麓
高 (10.1)



写真71 52 岩木山北東麓
高14.7



写真72 126 鯨ヶ沢町大曲遺跡
高15.7



写真73 13 岩木山北東麓 高7.8



写真74 139 岩木山北東麓 高6.0



写真75 79 岩木山北東麓
高 (2.9)



写真76 129 鯨ヶ沢町大曲遺跡
高16.3



写真77 132 岩木山北東麓
高 (21.9)



写真78 51 岩木山北東麓
高21.0



写真79 150 岩木山北東麓
高21.7



写真80 135 岩木山北東麓
高17.8



写真81 38 岩木山北東麓
高 (10.7)



写真82 46 岩木山北東麓
高 (8.5)



写真83 120 岩木山北東麓 高8.0



写真84 155 岩木山北東麓
左 高 (7.0)



写真85 319 岩木山北東麓
長 (9.9)



写真86 317 岩木山北東麓
高 (8.4)

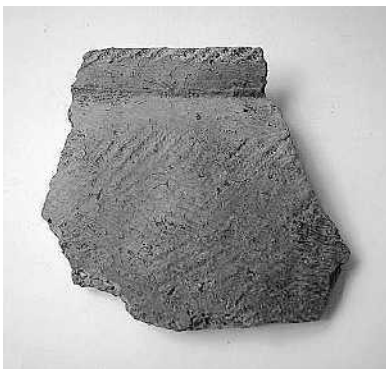


写真87 318 岩木山北東麓
高 (9.2)



写真88 61 岩木山北東麓
高 (28.9)



写真89 29 岩木山北東麓 高3.3

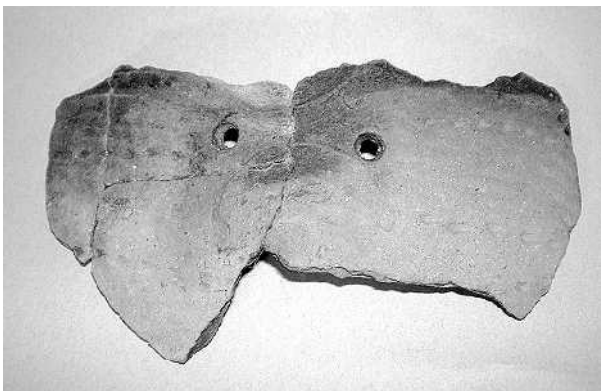


写真90 327 つがる市神田遺跡 高 (6.5) 幅 (12.3)



写真91 323 つがる市神田遺跡
右上から2個目 高 (3.9) 幅 (4.7)



写真92 62 五所川原市長者森山遺跡 高28.0



写真93 63 五所川原市長者森山遺跡 高28.0

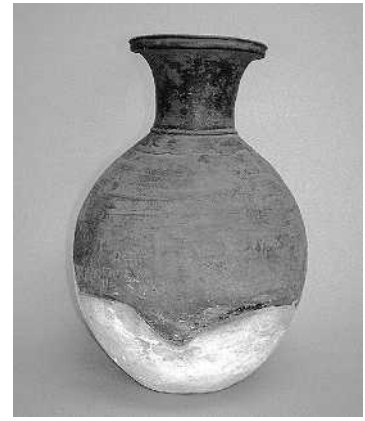


写真94 71 出土地不明 高(23.2)



写真95 72 出土地不明 高80.0

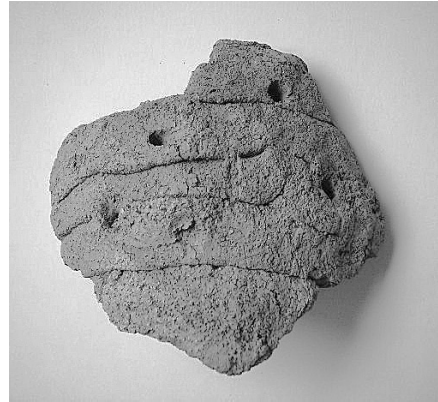


写真96 322 五所川原市原子 高(9.8)

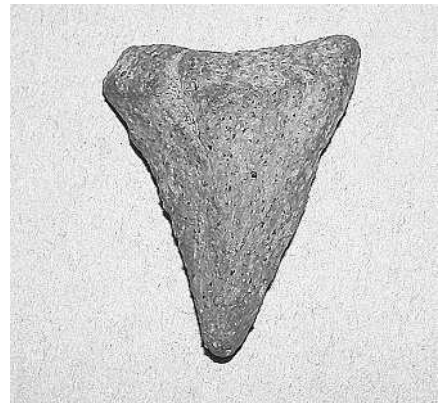


写真97 276 出土地不明 高1.9



写真98 80 五所川原市原子 高3.8 幅6.1

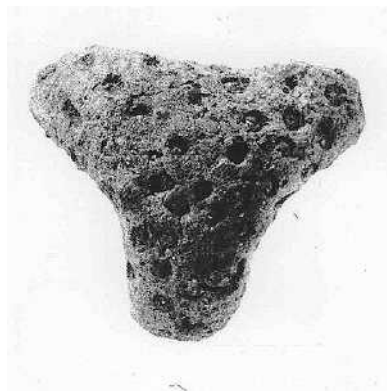


写真99 81 出土地不明 高3.5 幅4.2

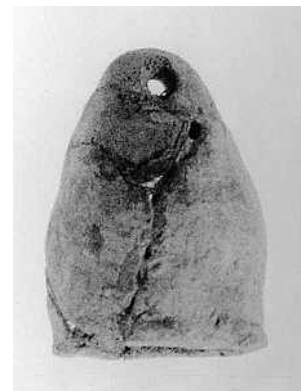


写真100 82 出土地不明 高6.1



写真101 94 出土地不明
幅2.2 高1.1

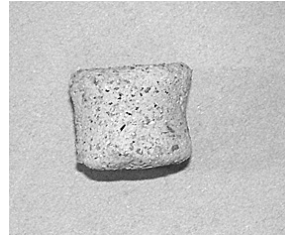


写真102 93 出土地不明
幅1.8高1.5



写真103 78 出土地不明
長3.8 高1.9 幅1.9



写真104 73 出土地不明
高 (2.0)



写真105 出土地不明 88 高 (7.1)

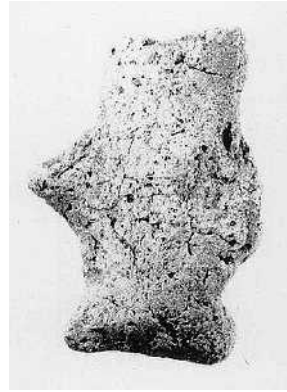


写真106 85 高 (5.2)



写真107 83 高 (6.8)



写真108 84 出土地不明 高 (4.3)



写真109 154 岩木山北東麓
高 (8.9)



写真110 314 鯨ヶ沢町大曲遺
跡 高 (3.4)



写真111 87 岩木山北東麓
高 (6.2)



写真112 90 岩木山北東麓
長 (6.5)



写真113 89 岩木山北東麓
長 (5.3)

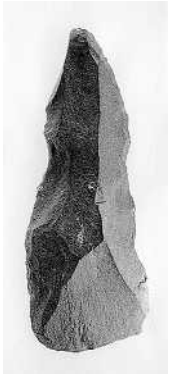


写真114 158 出土地不明 長18.5



写真115 252 出土地不明 長6.3

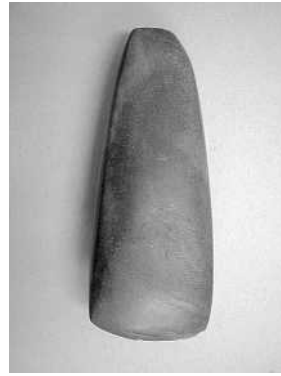


写真116 253 出土地不明 長13.8



写真117 167 出土地不明 長3.6



写真118 311 出土地不明 長6.5 幅5.9

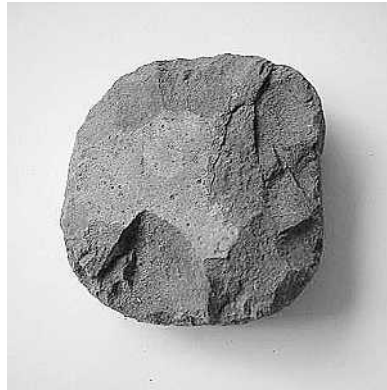


写真119 309 出土地不明 長8.1 幅7.6

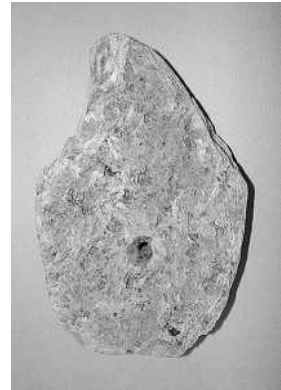


写真120 284 出土地不明 長9.8 幅6.5

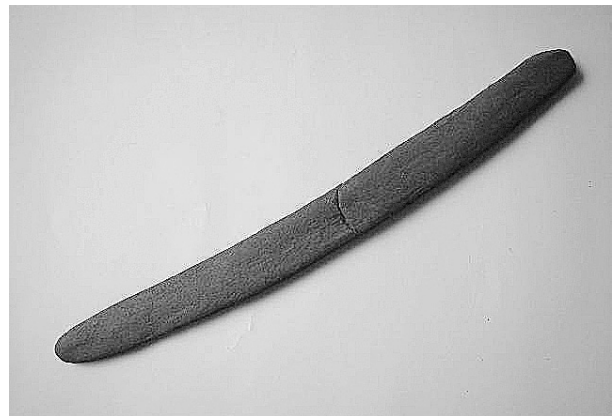


写真122 307 鯨ヶ沢町山田野 長43.3



写真121 266 長42.9 幅30.4



写真123 272 アメリカ テキサス州 長(3.8)